

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|--|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 9 | 2 | | 少しぼののスペースには人数が多いなと感ずることがある。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 9 | 2 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 10 | 1 | | 本館には、階数を移動するときには、手段としてエレベーターしかない。→車いすが移動できない。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 7 | 4 | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 8 | 3 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 5 | 3 | 3 | わかりません |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 9 | 1 | わかりません しらない |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 10 | 1 | | 月1回法人全体で医療的ケア研修を実施している。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 9 | 1 | 1 | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | 7 | 1 | それぞれ子どもによって特性も違い、個差が大きいため標準化されたアセスメントツールは、使用してないため |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 7 | 4 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | 4 | | 最近卓球、バレー、布染めなどのおもちゃ以外の活動が増えてきたら |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 4 | 6 | 1 | ・そこまでじっくり考えるまでに至っていないと思う ・課題を決めてというより様々な経験を増やすことを目的に活動を考えているため。 ・個別の支援は常に行っているが長期休暇に応じてとは変えていない。 ・長期休暇や土曜日には、時間があるときにしか出来ない取り組みをおこなっている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7 | 4 | | 計画に沿っての活動をしているかといえば、そうでもないと感じる。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 10 | 1 | | |
| 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 11 | | | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 11 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|----|---|---|--|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 9 | 2 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 6 | 5 | | わかりません しらない |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | 5 | | まだ勉強不足ではあるが頑張ります。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 10 | 1 | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 10 | 1 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 7 | 4 | | わかりません 現場の人たちは情報を知らないと思う。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 7 | 4 | | わかりません しらない |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 6 | 4 | 1 | わかりません |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | 5 | 4 | 地域の地蔵盆に参加している |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 6 | 5 | | わかりません 研修参加等 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 10 | 1 | | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 6 | 5 | | わかりません 親御さんの方がお子さんの事を理解されていると思うので対応の向上を図る支援はしていないが、本人(お子さん)の訴えを伝える等はしている。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 8 | 3 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 9 | 2 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 3 | 7 | 1 | しらない |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 7 | 3 | | 未記入1 |

| | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|---|--|
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 8 | 2 | | 未記入 1 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 11 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 10 | 1 | | 意識して勤務しています。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 3 | 7 | 1 | |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 9 | 2 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 11 | | | 年2回おこなっている。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 10 | 1 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 9 | 2 | | 虐待研修等で身体拘束の原則は学んでいる。が、現在のところ身体拘束にあたる行為は行っていない。バギー等でのベルト使用は安全配慮義務として計画に含め、保護者同意を得ている。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 11 | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | 6 | | |